



## 2012年一文字ヨットクラブ会報3月号

←(今年からクラブ旗を更新しました。会員にクラブハウスで広報から配布中です)

### \* 小山会長

平成24年、始まりました、今年も会長に選んでいただき光栄に思います。  
2月7日に尼崎港管理事務所に、今後の一文字 YC の泊地問題について、話会いに行ってまいりました。(杉本、児玉)  
西宮ポートパーク問題で不法繋留艇が一段落、放置艇との問題も最高裁の判決が下り、  
西宮浜ポートパークがこの4月からオープンします。  
それに伴い 現在の甲子園ヨットハーバー水面占有料金の減免の打ち切りをお願いしたいとの事。(受諾しました)  
それと、尼管からの依頼は西宮浜ポートパークへ 一文字ヨットクラブの移転を考えて頂けないか、とのこと……  
この件は一文字ヨットクラブ側としての明確な理由を説明して、お断りしました。  
尼管副所長、井上氏は今後も、話し合いを続けたいと言われ、一年契約(暫定)を約束してくださいました。  
(クラブ側は3年を求めましたが……)  
元々、30年前から、一文字ヨットクラブの水面占有は「暫定」で1年契約でした。  
(阪神淡路大震災以降～甲子園浜に移動して西宮浜ポートパークが完成するまでは占有料金は減免のままでした)  
一文字ヨットクラブは会員の皆さんで自主管理・運営されています。  
次回、泊地移動が発生した場合はクラブ全艇で移動したいですね。  
今年一年会長として頑張りますので 宜しくお願いします。

### \* 杉本副会長

ヨットは手入れすればよみがえりますが、身体のほうは年ごとに確実に性能が落ちるようで、だんだんデイセーリングさえもきつと思う日が増えてきました。息子たちが引き継いでくれれば言うことはないのですが、なにせ趣味のことゆえ、押し付けるわけにも行かないしねー！  
セーリングしても楽しくないというのは寂しいものです。  
クラブはいつの時代もそれなりの問題を抱えていました。ひとつ解決するころにはまた別の問題が発生していて心休まることはありません。まあ、ひとつひとつ解決していくしかないのでしょう。  
ことしはクラブに出向く日数も減るかと思えます。  
こまごました水道や電気の保守作業に割ける時間が減りそうですので、皆さんぜひ助けていただきたい。

### \* 高倍副会長 (新任)

会員の皆さん今日は、プレステージの高倍です。  
何を今さらとの感もありますが、この一年クラブのさらなる活性にお役にたてればと名乗って出た次第です。  
役員の成り手が少ない、若い方の選出を等の思いもある様ですが、若さは年齢では無く心の在り方、齢五十も過ぎれば五年十年など同じ事、前向きにボランティア活動できる方の開拓と、クラブ伝承整備に工夫が必要かと。  
若い世代は働き盛り、大いに社会や家族貢献して下さい、クラブは気持ちのある方で支えて行きましょう。  
幸い従前と異なる会員の支援もあるようです、黙っていても加齢は加齢。  
来季に向かい、多くのクラブ担い手のネゴと東側西側係留艇の交流促進が今期の課題かと思えます、お宜しく！

### \* 水ぬるむ春が近づいて来ました！

……今年最初の共同作業(義務作業)は4月15日です！春祭りも兼ねて楽しくやりましょう！！

## \*2012 年クラブ行事

- ・ 1月14日 合同委員会 (13時~クラブハウス)
- ・ 4月15日 義務作業と春祭り  
10時：缶トリー、ジंक交換、周辺清掃、12時：春祭り (出店形式)、帆走会 (随時)
- ・ 4月22日 招待セ〜リング：あさひ会
- ・ 5月5~6日 春の合同クル〜ジング (淡路島・翼港)
- ・ 5月20日 義務作業 (10時：棧橋塗装その他)
- ・ 5月 (日にち未定) 招待セ〜リング：ボーイスカウト or ガールスカウト
- ・ 6月 (日にち未定) 招待セ〜リング：三光塾
- ・ 7月21 or 28日 夏祭り (出店形式) (芦屋浜花火大会の日程に合わせています)
- ・ 7月22日 or 29日 招待セ〜リング：ボーイスカウト or ガールスカウト
- ・ 9月22~23日 クラブ合同クル〜ジング (淡路島・洲本 or 由良)
- ・ 10月14日 義務作業と秋祭り  
10時：缶トリー、ジंक交換、周辺清掃、12時：秋祭り (出店形式)、帆走会 (随時)
- ・ 11月17日 合同委員会(13時~クラブハウス)
- ・ 12月1日 定期総会 (18時~場所：NICC)

## \*東西2箇所の渡り橋の鍵付きゲートは??

甲子園泊地に移動するに際し、保安庁から、子供が勝手に入り込んで転落するなどの事故防止する目的で設置のご指導を受け設置したものです。このことは安全委員長から保安庁に提出している「一文字ヨットクラブの安全方策」に記載しています。もちろん盗難やいたずら防止にも効果がありますので、常に閉鎖・施錠しておきましょう。

## \*新入会員紹介

・渡辺政昭さん/Deep(ヤマハ 30CII)

以前、安全委員もやっていた事も有り、ご存知の方も多いかと思われまます。

昨年より、新たに正会員となりましたので、今後ともよろしくお願ひいたします。

艇名の由来は in deep から取りました！

もっと艇名のようにならないと、あかんですが、まだまだです。



ヨット暦は20年ほど前に J24 に乗艇して以来、しばらく J24 のレース等で楽しんでおり、他艇なんかも乗艇し、レースで楽しんで居りましたが、のんびりクルージングが楽しくなり、レースも参加しないようになり現在に至ります。

昨年は自艇でのクルージングはかないませんでした、今年は窓の雨漏りを直し、藤壺養殖から卒業し、楽しみたいと思っております。



・志水泰三さん/眞弓7（フィーリング34）

艇名の由来は、古くからの阪神タイガースファンであり、元阪神監督である眞弓さんが、現役時代に応援していましたので、名前をもらいました。

艇歴：ヨットに乗って約30年になり、現在7艇目です。（中古艇ばかりの乗り換えですが）主に大阪湾、瀬戸内、徳島方面をセーリングしています。8月には徳島の阿波踊りを見物に行くのが恒例となっています。



昨年のクラブ総会でも議論になりましたが、オーナーのみなさんがそれぞれ高齢化しており、一文字ヨットクラブの今後の運営が心配です。

レジャーの多様化で若い人が自動車離れしているのと同様に、ヨットもなかなか若い人が参加せず、ヨット人口が逆ピラミッドの形状を示しています。

何とかアイデアを出して若い人が海洋レジャーに興味を持つような事を考えたいですね。

私は、還暦をすぎ、すでにリタイヤした身分ですので時間はあります。一文字ヨットクラブの行事にはできるだけ参加したいと思っていますので今後ともよろしくお願ひいたします。



・加地祐子さん/Friend Ship(ヤマハ30SII)

共同オーナー：

友成博忠・末永秀樹・光川寛・林裕輔・  
今津清・加地祐子の6名です。

艇歴：1988年製

2009年8月サントピアマリーナで購入



セーリング暦：

クルージングは西は多度津港、南は白浜と伊島まで行きましたが、目標は四国一周です。

レースは毎月のサントピアクラブレースと2010年神戸まつりレースに参加

グループ結成3年目の新米ですが、レースもクルージングも大好きです。 よろしくお願ひします。



## \*各委員長を補佐するサポート委員の応募者および委員長の推薦者

・安全担当:漆川、大蔵、大原、白井、山ノ川(AED)

(招待セ〜リング時にレスキュー艇配備、海上保安庁や安全協会への対応、泊地ブイ灯の管理、供用棧橋や渡り棧橋の安全確認……)

・広報担当:多田、(お知らせハガキ発送などの作業分担)

・運営担当:新谷、富森、加地、(合同クル〜ジングや帆走会での作業分担、クラブ行事日の昼食賄い……)

・施設管理担当:初田、(クラブハウスや工具室等の清掃……)

・社会貢献担当:岩崎、辻井、(缶トリーや招待セ〜リング時の作業分担……)

・泊地担当:募集中、(棧橋や杭の点検、艇の係留状況の点検……)

## \*会計委員長より

・H24年クラブ会費の振り込み期限は3月31日です。

……振り込み口座の名義が「スギモトヒロシ」→「シモダヒロシ」に変更しています。

・役員の活動費(交通費/ガソリン代を含む、通信費、コピーなど領収書に出来ない年間費用)を一律2万円にしました。

・今年から兵庫県に水面占有料金(約120万円)を払い込みますので、クラブの財政は、より圧迫されます、会費の振り込みは遅滞なきようにお願いします。

## \*ゴミの放棄について(合同委員会)

・酸素ボンベ、AV機器、鍋……粗大ゴミがディンギーラックの側に放棄されていますが、ここはゴミ捨て場ではありません。クラブとしては有料処分業者に依頼検討していますが、持ち主が判明したら処分費用の請求をいたします。

・尚、3月15日までに各艇や棧橋上の不要物があれば出して下さい、一括して処分業者に依頼します。

## \*甲子園浜北岸壁の水面占有の更新について (2/7、尼管との事務折衝の補足説明:小山、杉本、兎玉)

・毎度のことながら、去年の顔ぶれと変わっていた。(担当の課長以外)

また、一から「ヨットクラブの歴史」をお渡しして、IYCと尼管との辿ってきた道のりを説明しなければならなかった。

新任の井上副所長はPB(Boat Park)建設にあたって、IYCが旧泊地(BP建設地)から甲子園浜に移動の協力に対して感謝の意を示していたが、またBPに戻って欲しいとのこと、しかしながら移動や改築(7.5m以上の艇が入れるように)の費用は尼管側から出せない……など、話が矛盾している。

・IYCとしてはBPへの移動はその理由を明確に説明して、きっぱりとお断りし、現在の泊地を継続的に利用したい旨の意向を伝え、尼管側は「暫定措置」を継続し、1年更新で、毎年「一文字ヨットクラブ」と話し合いを続けたいとの事でした。

・今年から、新たに1年契約(水面占有)のヨットクラブ活動が始まります、旧泊地(西宮浜北岸壁)と明確に違うところは、相応な棧橋やクラブハウスを持っていて、体験乗船など、積極的に社会貢献活動を実施しているクラブである……。

尼管側もこの点は認めざるを得ない処であるが、地元に貢献するという意味で兵庫県内や西宮市をターゲットにしたい。

・これからも継続的に、自艇の保守管理とヨットハーバーの美化には一層の会員自身の自覚が求められます。

・全国的にも稀な都市部での自主管理・自主運営の「一文字ヨットクラブ」をクラブ全員で守って行きましょう。

\*\*\*編集が遅れて「3月号」になりました、2年ぶりの会報発行です!次回は8月号を予定しています。

(尚、ホームページを閲覧出来ない会員のために「一文字ヨットクラブの歴史」を抜粋して同封しています)

(文責:広報/兎玉)